

↓ 当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

採取容器追加のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、此の度、HPV(ヒトパピローマウイルス)-DNA同定の専用採取容器として、検出率を向上することを目的にブラシタイプの採取容器を追加することと致しましたので、取り急ぎご案内申し上げます。

近年、子宮頸癌の原因はHPVの持続感染であることが解明されています。HPV検査と細胞診検査を併用することで病変の検出率を高めることが可能となり、実際に米国の産婦人科学会のガイドラインではHPV検査と細胞診検査の併用が推奨されています。新容器では1本で細胞診検査とHPV検査を同時に採取することが可能です。

ご了承賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

対象項目

- [8129] HPV-DNA同定(中～高リスク型)
- [8235] HPV-DNA同定(低リスク型)

従来の綿棒タイプの採取容器も平行してご利用可能です。

※ブラシタイプ(検診用)の採取容器は、出血する可能性があるため妊婦にはご利用いただけません。

妊婦検診および[7394]STD-DNA セットのご依頼の際は、従来容器の綿棒タイプ(妊婦用)をご利用下さい。

実施期日

- 本案内以降随時

ブラシタイプ(検診用)の採取容器をご希望の場合は弊社営業までお申し付け下さい。

HPV採取容器

追加容器(検診用)

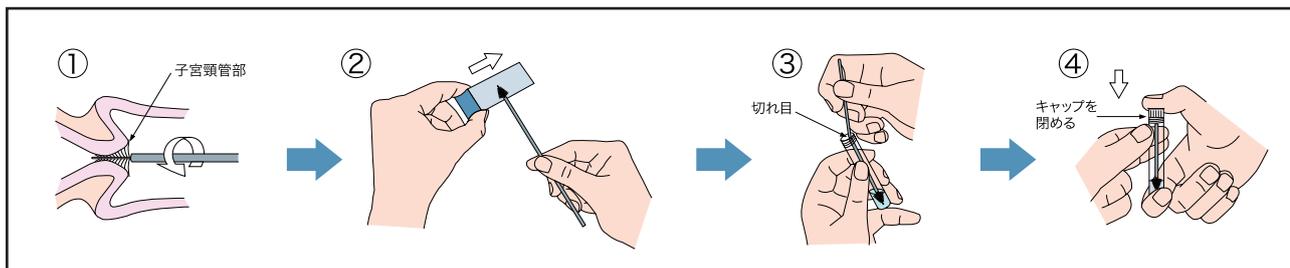


従来容器(妊婦用)



妊婦検診の際には、ご利用いただけません。
(出血することがあります)

細胞診検査とHPV検査を同時に採取することが可能です。



綿棒タイプでは細胞診との同時採取は行えませんのでご注意ください。